

鵬 窓

HOSAI

「鵬際」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（=はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会
(通巻第109号)



<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



一年を省みて



平成23年度 八代経済開発同友会

第48代 代表幹事 鶴田 稔

あれから早一年が経とうとしています。「光陰矢のごとし」と言いますが、正に時の過ぎ去るのは早いものだと思います。しかしこの間には政治・天変地異・気象・経済などこれまで経験したことのないような色々なことが起こりました。とりわけ我々経済人にとっては、長引く世界的な経済不況に加えて異常なまでの円高により、直接、貿易に関係のない企業であってもその影響は少なくないものと思います。

先日、日本の将来人口推計が発表されました。以前から分かっていたことではありましたが、既に日本の人口は減少を始めており、これから労働力の急激な減少により右肩下がりの縮小経済に向かうものと思われます。以前のような好景気は望めるものではありません。縮小経済の中で如何に企業の付加価値を高めて、独自色を持つ会社として発展・継続させていくかが経営者に課せられた喫緊の課題だと思います。八代商圈を考えれば交通インフラの充実、地理的要素を生かしたグローバル戦略、特に中国や東南アジアへ商圈を拡大する必要もあるのかもしれませんが。

長きにわたる経済の低迷の中でも、発展している職種はありますし、また低迷している職種であっても成長している企業はあります。発展する会社はどこが違うのか、どうすれば発展できるのか。「社長は多いが経営者は少ない」と言われます。理念を持った経営者を目指してセミナー等を通じて改めて勉強したいと思います。

各委員会は目標を定めて一年間取り組んできましたが、なかなか1年で成果を得ることは至難であります。次年度も引き続き成果を得べく活動をよろしく願います。継続事業として取り組んでいる八代・天草架橋旗高校サッカー大会及び10年大会の折り返しとなった高校バドミントン大会は何れも盛会裏に開催され、八代にとって少なからず経済効果をもたらしている大会であります。しかし会員の積極的な関与が今少し不足しているように思われます。今後、皆さんに参加していただけるよう、工夫を重ねていくことが必要だと思います。

八代は歴史及び文化遺産の数多くある町です。しかし、市民は何処にどの様な歴史があり、また史跡・遺産があるのか、私を含め知らない人が多いのではないのでしょうか。新幹線が全線開通し八代への交通手段も更に利便性が高まりました。目的を持って八代に滞在してもらうためにも、八代の歴史を自ら知り、観光客に当然のように解説できる人の養成が必要になるのではないかと思います。ある城下町では学校教育の一環として小学生が案内人を務める取り組みが行われ、好評を博しています。八代史談会などと共に官民連携した「八代歴史マイスター」を養成するような取り組みも意義があると思います。まだまだ取り組んでみたいことはたくさんありますが、それは次回にまわし、まずは本年度一年皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2012年 ぐろとよかもん年賀会



今年も1月4日、ホワイトパレスに於いて「八代ぐろとよかもん年賀会」が八代経済開発同友会主催、八代市・八代商工会議所・八代市商工会・(株)八代青年会議所・八代よかこ宣伝隊後援で開催されました。

昨年からはまったこの年賀会、今年が2回目と言うこともあり昨年より多くの方にご参加いただきました。

オープニングでは天草出身のミュージシャン、MICAさんの演奏と歌で皆様を出迎え、八代市商工会 会長

太江田茂様の開会挨拶、鶴田代表幹事による主催者挨拶、八代市長挨拶、の後MICAさんによる八代天草架橋イメージソング「ひとつ」の披露がありました。

この歌は八代天草架橋をもっと多くの人に認知してもらおうと制作していただいた曲で、1日も早い橋の完成を願う楽曲となっております。

その後、八代商工会議所 会頭 松木喜一様より乾杯のご発声をいただき、盛大な懇親が各出席者・各団体間で行われました。

途中、各団体紹介を行いながらの約3時間。八代経済発展の為に連携する事を祈念して開催された年賀会は、会場中が熱気に溢れかえる中、(株)八代青年会議所 理事長 俵 壮一様の挨拶をもって、閉会いたしました。

この年賀会が八代を盛り上げるきっかけになれば素晴らしい事です。また、八代には熱い想いを持った人達、団体がたくさんある事を知ることの出来た素晴らしい会となりました。



八代天草架橋
イメージソング



八代経済開発同友会 入会のご案内

私達と一緒に八代地域の経済浮揚を考えて見ませんか。

八代経済開発同友会は、経済人有志が結集し、自立した地域と経済の浮揚を目指しています。

第6回

Yatsushiro Cup 高校選抜バドミントン大会

今年で第6回を数え、目標の10回大会までの折り返しの大会となった今回、九州はもとより、沖縄・山口・広島・岡山から23校・約150名もの選手が八代に集結。松岡隆志実行委員長を中心とし、2月4日(土)・5日(日)の二日間、八代東高等学校(男子)・八代白百合学園(女子)を会場に熱戦が行われました。

これだけ多くの出場高校が集まるのも、八代東高校・八代白百合学園高校がそれぞれに全国レベルの実力を持つ強豪校である事が理由の一つです。

この大会では、各チームより、大会参加料としてシャトル(羽)を5ダース徴収しており、そのシャトルを大会期間に使用する事になっております。

「何故シャトルが参加料？」と疑問に思われるかもしれませんが、試合を見れば納得します。とにかく激しい！1試合にシャトルが幾つも使い物にならなくなる位に激しいのです。当然シャトルの消費量は2日間の大会で相当量になります。

その最も必要となるシャトルを各チームが参加料として持ち寄り、大会運営の大きな役割を果たす事を考えれば、非常に理にかなったシステムなのです。

大会結果

男子		女子	
優勝	長崎県立西稜高等学校	優勝	九州国際大学附属高等学校
2位	熊本県立八代東高等学校	2位	岡山県立倉敷中央高等学校
3位	自由ヶ丘高等学校	3位	八代白百合学園高等学校

残念ながら八代東高校・八代白百合学園、共に優勝を逃してしまいましたが、各校各選手のレベルアップになった大会となった事でしょう。

来年の第7回大会も多くの選手が素晴らしい経験の出来る有意義な大会にしていきましょう！。

最後に協賛いただきました「八代よかこ宣伝隊」様・「ヨネックス(株)」様・「(株)ケイ・カンパニー」様。

広告協賛いただきました「(有)神園交通」様・「吉住酸素工業(株)」様・「上原税理士事務所」様・「日奈久温泉センターばんぺいゆ」様・「(株)ゼロワン」様、そして準備等々でお手伝いいただいた八代経済開発同友会の皆様にも心より御礼申し上げます。



ひこいちDON

付加価値創造委員長 續 協典

付加価値創造委員会は、八代独自の食グルメを開発・普及させる為に八代市及び各種団体と共に八代市ご当地グルメ実行委員会を設立し、活動しております。

今年はまず八代管内の高校生を対象にしてレシピを募集・審査（3月10日）を行う事としておりますが、料理の名称は「ひこいちDON」になります。この名称はもちろん、八代ゆかりの「彦一とんち話」にちなんだもので、審査基準は八代産の食材の使用に努め、おいしく、とんちがきいて面白いものとしております。

その後、審査員を務める飲食店さんに自分の店を出したい料理を選んでもらって出してもらったり、スリーデーマーチへの出店等も行いながら、市民の皆さんへの浸透を図ります。

今後、「ひこいちDON」を扱う飲食店が徐々に増えていきますので、会員の皆様も是非食べてみてください。よろしくお願いいたします。

新春 完熟トマトちぎり

2012年1月3日(火)白石農園 白石勝敏会員のトマトハウスにて「新春 完熟トマトちぎり」が開催されました。昨年に引き続き多くの会員が家族同伴で参加。各会員4kg・5kg、10kg以上の完熟トマトをちぎり、格安にて購入しました。参加した子供たちには、普段は入れないトマトハウスの内部やトマトがどのように育っているのか。とても良い経験になった事だろうと思います。白石会員、ありがとうございました。来年の開催も楽しみにしております！

